

# 平成27年度 進路だより

## わくわくワーク 第1号



平成27年9月18日  
富山県立しらとり支援学校  
進路支援部

「高等部を卒業すると、どのような進路先があるのかな。」「希望する進路先に進むには今何をしたらよいのかな。」このわくわくワークが、そんなことを考えるきっかけになればいいと思います。分からないこと、知りたいことがあれば、進路支援部にお気軽にご相談ください。

### 第1回高等部就業体験（6月11日～24日）報告

- （1年生）校内就業体験で2週間続けて作業学習に取り組みました。
- （2年生）初めて校外で就業体験を行い、いつもと違う環境の中で周りの人たちと一緒に仕事に取り組みんだり、指示を聞いて正確に作業したりすることができました。
- （3年生）2年時の就業体験を基に、卒業後のことを意識して、より前向きに仕事に取り組みんだり、進路先を絞り込んだりするための大事な体験となりました。

#### ○決意発表会

進路支援部の先生からの「学年ごとの目標に向けて、夢や希望をかなえるためにどうすればよいか考えることが、進路を考える第一歩です。」との助言を受け、全員が就業体験に向けて決意を新たにしました。2、3年生は一人一人が体験で頑張ることを発表しました。校長先生から激励の言葉と共に許可証が手渡されました。

#### ○報告会

1年生代表と、2、3年生全員が就業体験を終えた感想や頑張ったことを発表しました。やり遂げたという達成感や充実感が表情に出て、わずか1か月間で大きく成長した姿を目にすることができました。

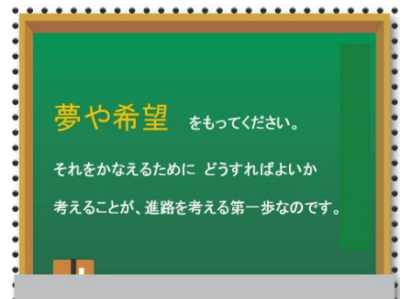
#### ○各学年の感想や様子

1年生

#### 校内就業体験（園芸班）

<内容>タマネギの収穫と根切り、花壇の水やりなど  
<実習の感想より>

暑い日が続く中での、就業体験でした。タマネギを畑から一つ一つ収穫して籠に入れました。タマネギの根切りでは、はさみを使って、丁寧に切り落とすことができました。初めての就業体験でしたが、集中していろいろな作業に取り組むことができました。



## 株式会社 ほたる 就労支援作業所 ほたる

＜内容＞プラスチック部品点検、プリスター詰め  
 ＜実習の感想より＞

結束バンドを10本ずつ数えて束ねる仕事をしました。注意されたことに気を付け、集中して作業しました。難しい仕事も少しずつ慣れて正確に早く頑張りました。



## NPO 法人 おらとこ

### 就労継続支援 B 型おらとことん夢工房

＜内容＞刺し子、アイロン掛け、ガウン畳み  
 ＜実習の様子 担任より＞

アイロン掛けでは、霧吹きで適度に水を掛けたり、ゆっくりアイロンを動かしたりして丁寧にしわを伸ばすことができました。しわを伸ばし終わったらすぐに支援員の方に報告をすることができました。



## 富山第一ホテル

＜内容＞ホテル内清掃  
 ＜実習の感想より＞

富山第一ホテルで頑張ったことは、フロアの掃除機掛けです。フロアが広く大変でしたが、一生懸命やりました。スピーディーに仕事ができると褒められました。



## 社会福祉法人 射水福祉会 いみず苑

＜内容＞アルミ缶潰し  
 ＜実習の様子 担任より＞

いずみ苑の方と相談して支援環境を整えていただき、見通しをもって落ち着いて取り組みました。1籠分潰し終わったら短時間の休憩をとり、また続けることで、1日を通して12籠潰すことができました。1日の流れにも慣れてきて、落ち着いて作業に取り組むことができました。



## 働くための力

今回就業体験を行った企業・事業所から以下のアドバイスをいただきました。参考にしてください。

- 自分から、挨拶をするようにしましょう。
- あせらずに、丁寧に作業するように心掛けましょう。
- 分からないときは、「教えてください」と、自分から聞きましょう。
- 暑さ、寒さに負けない体力を付けましょう。
- うがい、手洗い、着替えなど、自分でできることは自分でしましょう。



# 「プロの技術を学ぼう、体験しよう」

高等部では、企業就労を希望する生徒を対象に、仕事のプロを招いて、技術や態度を直接目にしたり指導していただいたりする授業を行いました。

7月9日（木）太平ビルサービス株式会社富山支店の岡本廣朗氏をお招きして、清掃業を行う上で気を付けることについての講義と実技指導をしていただきました。

清掃業は「相手を快適にする仕事」という考え方を学ぶとともに、実際にモップやダストクロスモップの使い方を教えていただきました。初めてモップ等を扱う生徒もアビリンピックに出場する生徒も真剣に取り組んでいました。

また、7月17日（金）富山電気ビルレストランの金子真次郎氏を招いて、喫茶・サービスについての講義と実技指導をしていただきました。笑顔と明るい声で接客することや、お客様に飲み物などを出す際に気を付けるポイントについて学びました。アビリンピックに出場する生徒たちはとても真剣に実技指導を受けていました。



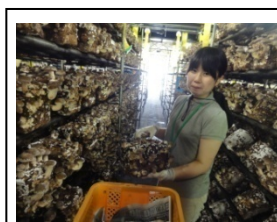
# 「教員の事業所体験報告」

7月21日（火）から8月3日（月）まで教職員の事業所体験が行われました。小学部9名、中学部10名、高等部5名の合計24名の教職員が、今年度新しく加わった「株式会社WAWA」「白皇山保護園つばさの郷」を含む8箇所の事業所で仕事を体験しました。

利用者の方と一緒に働く体験を通して、「就労を目指して育てたい力」「仕事のやりがい、大変さ」などが分かり、卒業生のアフターケアにつながる情報も得ることができました。

## 「めひの野園 作業センター ふじなみ」

規模が大きく本格的な「しいたけ工場」といった感じで驚きました。しいたけ栽培から出荷までの工程を細かく説明していただき、障害のある利用者さんが得意なことを生かせる、やりがいのある仕事だと思いました。体験して、体力がないと続かないと感じました。



## 「恵風会 多機能型施設 このみ」

利用者さんは落ち着いて作業されていました。ご飯の量をデジタルはかりで量ったり、指示された個数の食材を袋に入れたりされていました。数学の時間などで身に付けたら良いことと、仕事に対する姿勢など態度面で学校で身に付けなければならない力を知ることができました。



# 「第1回インターンシップ推進委員会」 7月15日（水）

## テーマ「就労・社会参加に必要とされること」

インターンシップ推進委員会は、児童生徒一人一人に応じたよりよい進路支援ができるように、雇用や就労支援などの外部委員4名と、本校からの内部委員が意見交換を行う委員会で、年2回開催されます。

第1回の委員会では、まず学校側より昨年度卒業生の進路状況報告や在校生の第1回就業体験の評価と課題についての説明後、テーマについて意見交換が行われました。

各委員のご意見を一部紹介させていただきます。



### 企業、ハローワークの委員より

- ・単純作業のものが多いため、持続力が必要となる。
- ・自分から挨拶ができる人、笑顔がある人は好かれる。
- ・本人と確実に連絡が取れるように、携帯電話を使うことができるようにしてほしい。
- ・就業体験や就労の前に、保護者や先生方と連携を密にして、的確に本人の実態把握をしたい。
- ・卒業後に本人が困ったときのことを考えて、相談支援機関につなげておくことも大切。

### 福祉事業所、相談支援事業所の委員より

- ・「お、あ、し、す」（おはようございます、ありがとうございます、しつれいします、すみません）という基本的なコミュニケーション力を身に付けてほしい。
- ・家庭においては身辺自立や体力作り、約束事を守ることに取り組んでほしい。
- ・余暇の過ごし方を充実させて、ストレス解消を図ってほしい。

### 洗心会役員より

- ・挨拶に関しては、障害特性によって難しい子どももいるので、長い目でみてもらえるとありがたい。
- ・自分の子どもがどのレベルまで達しているのか、どの事業所が向いているのか、親が十分に理解していないところがある。先生方に進路相談に乗ってほしい。

### 進路支援室より

本年度から進路指導主事になりました川端直人です。

2学期も、「先輩こんにちは」「第2回就業体験」「プロの技術を学ぼう」など進路に関わる授業が予定されています。皆さんが夢や希望をもち、実現に向けてさらに力を付けることができるよう、教員一丸となって応援していきます。

保護者の皆様、今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

